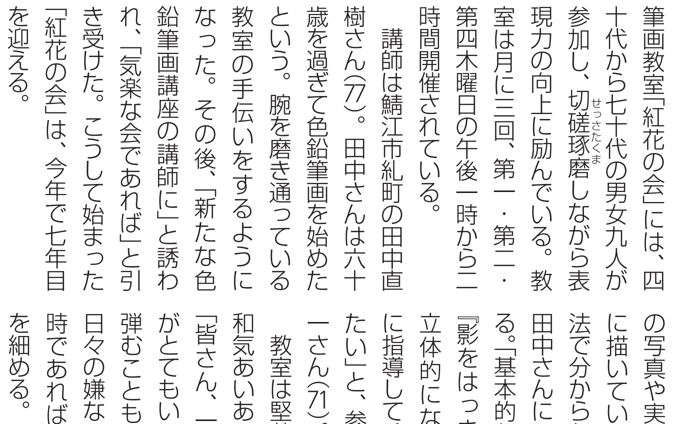
おじゃましまーす

気軽に楽しむ小さなアート

色鉛筆画教室 紅花の会

福井市日之出公民館



「紅花の会」の皆さん。前列右から２人目が講師の田中直樹さん＝いずれも福井市の日之出公民館で

福井市日之出公民館の色鉛筆画教室「紅花の会」には、四十代から七十代の男女九人が参加し、切磋琢磨（せっさたくま）しながら表現力の向上に励んでいる。教室は月に三回、第一・第二・第四木曜日の午後一時から二時間開催されている。

講師は鯖江市糺町の田中直樹さん(77)。田中さんは六十歳を過ぎて色鉛筆画を始めたという。腕を磨き通っている教室の手伝いをするようになった。その後、「新たな色鉛筆画講座の講師に」と誘われ、「気楽な会であれば」と引き受けた。こうして始まった「紅花の会」は、今年で七年目を迎える。

色鉛筆画は色鉛筆を使って、写実的な表現を目指す。教室の進め方は、参加者が描きたい物の写真や実物を用意し、自由に描いていく。途中、表現方法で分からないことがあれば田中さんにアドバイスを求める。「基本的なことはもちろん、『影をはっきり描くと、絵が立体的になる』など、具体的に指導してくれるのでありがたい」と、参加者のおりと健一さん(71)。

教室は堅苦しさが全くなく、和気あいあいとした雰囲気だ。「皆さん、一生懸命なところがとてもいい。おしゃべりが弾むこともあり、この時間が日々の嫌なことが忘れられる時であれば」と田中さんは目を細める。

参加者の吉川悦子さん(78)は、講座の時間が楽しみで待ちきれないこともあるという。「色鉛筆画は小さな紙と小さなスペース、色鉛筆があればいつでも描き始められる気軽さがいい」。実際、夕食の準備の合間に台所で立ったまま描くこともあるそうだ。

来年の一月四日から二十九日まで、北陸銀行福井東支店(福井市西方一丁目)で「紅花の会」作品展が開催される予定。

最後に、田中さんの「絵にうまいも下手もないから」という言葉が印象的だった。

教室の皆さんが描いた色鉛筆画

色鉛筆画教室で指導する田中さん(中央)

昭和、平成、令和 愛され続けるベーカリー

プレゼント

鯖江市丸山町にある「マツヤベーカリー」の歴史は、現店長山本量太さん(42)の祖父、故山本清治さんが昭和三十年代に、同市糺町にパン工場を開業したことに始まる。

創業時は主に学校給食や近所の商店に卸すパンを焼いていた。十八年前、現在地に移転した際、店舗を構え小売りも始めた。現在も同市内の小・中学校に給食のパンを提供、スーパーマーケットでも販売されており、多くの市民が子どもの頃から同店のパンの味に慣れ親しんでいる。

総菜パンだけでも毎日四十種類以上焼き上げる。多くの商品が百円代から二百円代前半の価格設定になっており、焼きそばパンや半熟たまごパンなどの定番から、北海道発祥のちくわパン(ちくわの穴にツナマヨを入れ、パンとマヨネーズと共に焼き上げた調理パン)など、珍しいパンもある。

山本さんは「特にこれが一番人気というものは無く、満遍なく売れていく。皆さんそれぞれ好みのパンを見つけているようでうれしい」と話す。

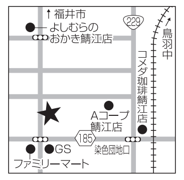
仕事帰りの人でも間に合うように、との心遣いから平日は午後八時まで営業しているのも多くのお客さんから支持を集める理由の一つだろう。

「祖父の代から受け継いだお客さんとのつながりやこの店を、これからも変わることなく守っていきたい」という山本さん。

マツヤベーカリーのパンを食べるお客さんの笑顔は今も六十年前もきっと変わらないのだろう。

忙しく働くマツヤベーカリー店長の山本量太さん＝いずれも鯖江市丸山町で

祖父の代に始まるマツヤベーカリー



マツヤベーカリー

住 鯖江市丸山町1-305
☎0778-51-1433
営 平日：午前7時30分～午後8時
　土曜日：午前7時30分～午後7時30分
休 日曜日、祝日(祝日が土曜日の時は営業)
駐 10台
インスタグラムで情報発信中

お店紹介

町屋を改装、ビストロに

寺院や旅館などが立ち並ぶ越前市京町の風情漂う一角に、二月にオープンした「ビストロ　ミストラル」。早くも武生の人気店との評判だ。

店を営むのはシェフの梅村俊二さんと、妻でパティシエールの範子さん。俊二さんは県内のステーキ店やホテル、フレンチレストランで務めた経歴をもつ。地元の丹南地区に二人で「気軽にフレンチを楽しめる店を」と探し求めた物件は、呉服屋だったという町屋風の建物。跡形もなく改装したという店内はえんじ色のテーブルクロスが落ち着いた雰囲気を演出し、ゆっくり食事が楽しめる。

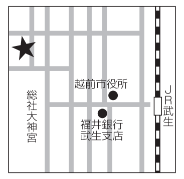
ランチのコースは数種類あり、前菜、スープ、メイン料理、パンまたはライスに飲み物が付き千六百五十円から。ディナーもコース料理が基本になっている。

テークアウトにも力を入れる。一番人気は秘伝のタレが肉に絡んだ「ステーキ重」(千二百五十円)。なるべく前日までの電話予約が望ましいが(受付時間は午前九時～午後五時)、当日でも用意できる場合があるので、ぜひ相談を。

また、範子さんが作るテークアウト用の「お花のフルーツサンド」(六百五十円)は日曜日のみ販売。人気商品のため、事前予約が確実だ。(価格は全て税込み)

呉服屋を改装した「ビストロ ミストラル」＝いずれも越前市京町で

範子さんのセンスが光る「お花のフルーツサンド」



Bistro mistral（ビストロ ミストラル）

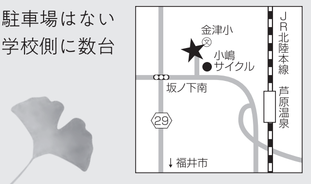
住 越前市京町1-6-22 ☎0778-43-6221
営 午前11時30分～午後2時(ラストオーダー)
　午後5時30分～8時30分(ラストオーダー)
　※予約がお勧め
休 水曜日　駐 7台
インスタグラム、フェイスブックで情報発信中

あわら市 イチョウ散歩

美しい黄金色に紅葉して人々を楽しませてくれるイチョウは約二億年前から存在し、メタセコイヤと並んで〝生きた化石〟と呼ばれている。樹齢が長く生命力が強いことから「荘厳」「長寿」「鎮魂」などの花言葉が付けられていて、十一月中旬から見頃を迎える。県内各所に美しい街路樹や銘木があるが、今号では、あわら市にある指定文化財(天然記念物)のイチョウを紹介しよう。深まりゆく秋、美しい風景を堪能しに出掛けてみては。

大鳥神社の大銀杏（おおいちょう） 花乃杜1-21-2

社の前と西南の隅に2本の大木があり、空を埋めるほど見事に枝を広げ、紅葉すると境内が一面黄金に染まり見事だという。いずれも根回りは6.5㍍余りあり、隆起した根の力強さにも圧倒される。昔はこの木に、竹田川に停泊する舟をつないでいたという言い伝えがある。JR芦原温泉駅から西に約800㍍。駐車場はないが、裏手の金津小学校側に数台止められる。

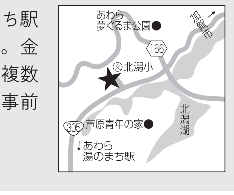


安楽寺のイチョウ 北潟42-12-2

泰澄大師によって718年に建立されたといわれる歴史ある寺の山門横に、空に向かってすらりと気持ちよく伸びる。樹高約30㍍で、住職によると樹齢は約300年という。雌株でたくさんのギンナンを実らせる。

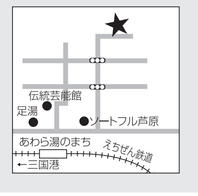
安楽寺本堂内には、県指定の文化財の金剛力士像もあり、拝観することができる。えちぜん鉄道あわら湯のまち駅から約5.5㌔。駐車場有り。金剛力士像の拝観は、住職が複数の寺を兼務しているため、事前の問い合わせがお勧め。

☎090-3164-5109



養善寺のイチョウ 二面14-74

活力に満ちた独特の姿が印象的。住職によると樹齢は約600年。かつては約15㌔離れた福井市のえちぜん鉄道中角駅からも見えるほどの高さだったが、強風で傷んだので、30年前に3分の1の高さに伐採したそうだ。現在の樹高は約30㍍。それでも生命力豊かに幹から無数の枝を伸ばす姿は、燃えさかる炎のような迫力を感じる。養善寺の中庭には、樹齢400～500年といわれる市指定の天然記念物のサツキ群もある。えちぜん鉄道のあわら湯のまち駅から約1.3㌔。駐車場有り。



丁寧な仕事ぶりが好評 親子で営むタイヤショップ

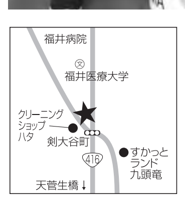
福井市剣大谷町の「タイヤショップグラート」は、適切なアドバイスと丁寧な仕事ぶりに定評があるタイヤやホイールの販売のほか、車の撥水コーティング、足回り、LEDライトなどカーパーツ全般、車の設備や整備のことなら何でも相談できる店だ。

九月に国道416号線沿いに新築移転オープンした。おしゃれなカフェのような店で出迎えてくれたのは経営者の橋詰泰英さん(52)と長男の翔(25)さん親子。泰英さんはソフトバレーを楽しみ、優勝経験がある。翔さんは軟式野球の強豪チームでピッチャーを務めていて、二人とも健康的な笑顔が印象的だ。

オープンしたのは五年前。泰英さんが、大手タイヤ会社に二十年勤務して得た知識や技術を、自分の店で直接客に届けたいという夢の実現だった。当時、翔さんは会社勤めをしていたが、元々車が好きだったこともあり、一緒に起業を決意。泰英さんに知識や技術を教わりながら、若い感性を生かした提案をしている。泰英さんは、翔さんののみ込みの早さやセンスの良さに目を細めながらも「車が地面と繋がる場所なので、タイヤは何よりも一番大切」と指導。言葉の強さに仕事への誇りと責任感が感じられた。店名のグラートは「感謝」という意味のイタリア語から。誰でも気軽に来られる店にしたいそうだ。

雪の便りが届く季節はもうすぐ。冬タイヤの購入や交換に迷ったら気軽に相談してみては。タイヤのパンク保証やオフシーズン預かりなど、お得で便利なサービスもあるそうだ。

丁寧な仕事ぶりに定評があるグラートの橋詰泰英さん㊨と翔さん＝いずれも福井市剣大谷町で



GRATO
タイヤ・ホイール

タイヤショップ グラート

住 福井市剣大谷町1-14-3
☎0776-58-3223
営 午前9時～午後7時
休 月曜日、第2・4日曜日
※冬・春のタイヤ交換時期は無休

タイヤショップ　グラート　検索

特典！

「さんぽみちを見た」と予約すると
タイヤ交換をこの価格で

軽自動車は	1,500円で
普通車は	2,000円で
RV車は	2,500円で

※いずれも税込み。
期間は令和2年12月末まで

お知らせ伝言板

500円クーポンがもらえるチャンス！
越前市民 熱愛グルメ

「ひ三（み）つのごちそうセット」

越前市民が熱愛する3大グルメ「越前おろしそば」「ボルガライス」「たけふ駅前中華そば」。これらのご当地グルメを2つまたは3つ楽しめるようにと、市内の5店舗が協力し、各店自慢のセットメニューが誕生した。セット内容は店ごとに異なる(1セット税込み1,100～1,650円)。

さらに「ひ三つのごちそうセット」を食事した人に先着で、1セットにつき、500円クーポン券を1枚進呈。クーポン券は次回から協力店５店舗で使える。配布は各店先着150人で、なくなり次第終了(一部店舗ではすでに配布を終了している)。詳しくは「越前市観光協会 ひ三つのごちそうセット」で検索を。

開催期間	10月1日(木)～12月31日(木) ※クーポン券有効期間も同じ
協力店	越前めん処（どころ） 江戸屋(高瀬2-6-15) 和風レストラン 瀧雅（たきまさ）(庄町36-1-1) 和風ダイニング 和ん酒（わんさか）(蓬莱町3-28) うどん坊 山むろ(神明町1-8) いろは本店(蓬莱町2-24)
主催	越前市観光協会
問い合わせ先	観光・匠（たくみ）の技案内所＝☎0778-24-0655

スタッフ日記

先日、仕事で出会った女性が、柄物の布マスクをしていました。思わず「すてきですね」と言ったところ、亡くなったお母さんがよく着ていた洋服を利用して作ったのだと教えてくれました。「洋服を見ると母の姿を思い出すから捨てられないでしょう。マスクなら毎日使うから、使うたび母を思い出すこともできるし、感染予防にもなるから」とにっこり。会えなくなった故人をしのぶ素晴らしいアイデアと美しい笑顔に、ぐっと込み上げるものがありました。

個人情報保護法

さんぽみちではお客さまに記入していただいた個人情報は、さんぽみちとお客さまの区域の販売店において適切に管理し、プレゼントのお届けなどに利用させていただきます。

あったか塾　参加者募集

押し花スマートフォンケース作り教室

日時	11月28日(土) 午前の部　午前10時30分～正午 午後の部　午後1時30分～ 3時
場所	JR福井駅西口ハピリン2階の福福小屋
参加費	1,500円
対象	小学4年生以上
定員	各部15人
講師	押し花アート講師 岩永美香さん(福井市)

福井の地で育った花を使い、世界に1つだけのスマートフォンのオリジナルケースを作ります。自身のスマートフォンに合う大きさのクリアハードケースを持参してください。
※レジンを使うためアレルギーの人はご遠慮ください。

主催：日刊県民福井・中日新聞社
共催：福井市観光物産館福福館

問い合わせ・申し込み先
日刊県民福井事業グループ＝☎0776-28-8618
(平日 午前10時～午後6時)

簡単♥おいしいクッキング～

長芋とマイタケの和風グラタン

【材料】2人分

長芋	200㌘	★顆粒だし(和風)	小さじ1/2
マイタケ	1パック	★しょうゆ	小さじ1/2
長ネギ	10㌢	ピザ用チーズ、粉チーズ	適量
卵	1個	塩コショウ	適量
		サラダ油	適量

【作り方】

① 長芋をすりおろし、卵と★の調味料を加えてよく混ぜ合わせる。
② マイタケは小房に分ける。長ネギは2㍉程度の薄い斜め切りにする
③ フライパンにサラダ油を入れ、マイタケと長ネギがしんなりするまで炒め、塩コショウをする。グラタン皿などの耐熱容器に移し、①を上から流し入れる。
④ ③の上にピザ用チーズを敷き詰め、粉チーズを振りかける。トースターで焦げ目が付くまで焼いて出来上がり。

読者からのお便りコーナー

お題は「言わせて！家族自慢」

十七歳の娘は地元中学校で学んだ「礼の心」を高校でも行っています。行き帰りに校門で一礼。最初は珍しがられましたが、今は友達も一緒に‼ 気持ちのリセットにもなるようです。（永平寺町 50代 女性）

私の家族、懸賞によく当たります！ それを周りにお裾分けすると、また当たるといううれしい連鎖が起こります。（福井市 40代 女性）

私には二人の息子がいます。長男は私の面倒をよく見てくれる優しい子です。次男はくも膜下出血で倒れ、四十九歳の若さで浄土に旅立ちましたが、生前は「母さん、母さん」と、気配りのできる優しい子でした。（坂井市 70代 女性）

妻に感謝の言葉「ありがとう」を。料理、和裁好きでオリジナルのソースやマスクを器用に作ってくれます。（福井市 50代 男性）

１００％優しい主人です。料理が下手で不器用で、わがままで、ブスな、何にも取りえがない私なのに一度も文句を言われたことがありません。（大野市 60代 女性）

今は別に暮らしている息子たちは、毎週日曜日、顔を見にきて、仏壇に参っていきます。（坂井市 70代 女性）

主人は、実家の両親や妹夫婦、めい、友人に対してとても気配りができる世界一優しい夫です。（大野市 40代 女性）

四人家族ですが、誰か一人に何かあると、残り三人がその事について全力投球する家族です。（坂井市 60代 女性）

わが家の子どもは、年子の兄と妹です。小さいころは目が回る忙しさでしたが、今はけんかしながらも、仲良く遊び、お手伝いも協力しながらやってくれるので、ほほえましく見ていられることが増えました。（福井市 30代 女性）

庭が草ぼうぼうになっていると、何も言わなくても草むしりしてくれるまめな夫です。しかし、私が植えておいたセンニチソウやオオバ、スイセンも一掃してしまうので一長一短なのであります。その時の落胆といったら…。（福井市 70代 女性）

ろくでもない私のような者に妻が嫁いできてもうすぐ三十八年になります。かつて私が病気をして入院した時、収入等に不安があったにもかかわらず、文句一つ言わず黙って付いてきてくれました。最高で自慢の妻です。（鯖江市 60代 男性）

三歳の孫から、意味不明の字の羅列メールが頻回に届きます。娘が訳するには「『ばあば大好き』だって」。心が和みます♡（福井市 50代 女性）

中学三年生の長女‼ 美人とは言えないけど、かわいらしく、悪口を言わない。男女分け隔てなく話すので人気者。男子が個人的に「勉強教えて」とお願いしてきて、ドラマが始まるのではと妄想している母です。（福井市 40代 女性）

家族自慢は誕生日です。長男十一月、夫十二月、私一月、次女二月、長女三月と続いています。（大野市 30代 女性）

投稿募集

投稿してくださった皆さま、ありがとうございました。次回のテーマは「これってうちだけ？新年に行うわが家のしきたり」。エピソードなどを添えて送ってください。
※内容を変えない範囲で手直しすることがあります。ご了承ください。

今月の読者アンケートプレゼント

さんぽみちをより良くしていくためにアンケートにご協力ください。当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

応募方法 ①希望のプレゼントの記号 ②住所、氏名、性別、年齢、電話番号、職業 ③現在購読の新聞名 ④地元のお薦めスポットや店 ⑤読者からのお便りコーナー「これってうちだけ？ 新年に行うわが家のしきたり」への投稿を記入の上、お送りください。

携帯電話やスマホからも応募できるよ

プレゼント

A	古民家レストラン 茶屋おがまち 舞茸丼お食事券	3人
B	小亀製麺・たこ焼き 寿朗 2店共通お食事券300円分	5人
C	道の駅「恐竜渓谷かつやま」 水ようかんソフト引換券	10人
D	if-plant(イフ プラント) お買物券500円分	2人
E	マツヤベーカリー お買物券500円分	3人

〒910-0005 福井市大手3-2-13 中日新聞分室内
「さんぽみち11・12月号プレゼント」係 ファクス、Eメールでの応募も可

ファクス 0776-28-8602
Eメール osanpo@fukuikoho-c.co.jp

締め切りは11月30日(月)必着

次号(1月10日発行)は豪華プレゼントが当たる新年特別号！ お楽しみに！